

2020(令和2)年度 事業計画書

社会福祉法人十字の園

2020(令和2)年度 事業計画基本方針

社会福祉法人十字の園 理事長 鈴木 淳司

十字の園理念 「夕暮れになっても光がある。(旧約聖書ゼカリヤ書 14 章 7 節)」
「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。」

2020 年度方針 「新たな挑戦」

社会福祉法人十字の園は、「夕暮れになっても光がある」という聖書の言葉を理念として掲げています。社会の大きな変化が押し寄せてくる中で、私たちの周りには情報が溢れ、取捨選択が迫られます。私たちが歩む時代は、多くの情報とその流れの速さに翻弄され大切なものを見失ってしまう危うさの中にあります。社会の仕組みや構造が変化する中で、歩いて行く道を見失わない様に一人一人が自分自身をしっかり見つめて行かなければなりません。

十字の園は創立の時、寝たきりの高齢者の悲しみに出会いました。神様が望まれているのは、悲しみを自分のものとして感じ、悲しみを取り除くために行動することと受け止めた一人の人から始まりました。

その行動は多くのキリスト教信仰者の祈りと寄付によって支えられ特別養護老人ホームが作られました。

そこに呼び集められた職員の多くはキリスト教信仰者ではありませんが、十字の園の名前の通り、十字架の下に一つとなって今日まで事業が続けられてきました。十字の園は、それぞれの時代で必要とされる地域に広がりながら、地域で苦しむ方々の辛さを自分たちのこととして受け止め、支援を届けてきました。

そこには、新たな支援を必要とする人との出会いがあり、新たな福祉の挑戦の連続でした。

今日の福祉制度の充実には、挑戦することの難しさにもつながっています。しかし、今なお辛く、悲しみの中に過ごしている方々がいます。新たな地域での出会いの中で必要な方に支援が届けられるように組織を再編成し、挑戦し続けるための基礎を 2020 年度は作ります。

法人設立から 60 年を迎える年となり、新たなスタートが必要だと考え、法人組織を 2 地区制とするなどの変更を行います。その中で以下の方針を定め、社会福祉事業並びに地域貢献活動において皆様と喜びを分かち合い、地域福祉の向上に努めてまいります。

1. 理念の下に誇りを持って働くことのできる職場づくりの取り組み

理念の目指す方向性を明確にし、共通の認識を持ち、お互いがより良い介護サービスを提供できる仲間として働ける職場づくりを目指します。この為に、理念教育委員会を新しく創設し、理事長が中心となって各施設、事業所の管理者の現状を把握し研修計画を立案、実施して行きます。

職員が社会福祉法人の職員として自覚を持ち、それぞれに専門性を発揮することができるように課題を明確化し、専門性の向上を図ります。

行動指針に繋がるサービス基準指針の見直しを行い、根拠立ったサービス提供を実施できるようにします。

2. 地域のニーズを積極的に捉え、繋がりを強める取り組み

地域包括のある御殿場、伊豆高原ではそれぞれの地域における事業所と連携を強化し、新たな課題に対して多角的な視点で積極的に課題解決に取り組みます。

総括責任者が、各地域における課題を法人における中長期課題として整理し法人全体としての取り組み強化を図ります。

各施設、事業所は、自分たちの強みを地域に積極的に発信し、必要とされる方にサービスが届けられる

ようホームページをリニューアルし、発信力を強めます。

3. 経営基盤を整え安心して働き続けられる職場環境を作る取り組み

キャリアパスに基づいた新しい給与表の施行を行い、評価制度を人事考課に取り入れ意欲的に働くことのできる職場環境を整えます。

60年と言う法人運営の中で、建物、設備の老朽化が進みそれらの建て替えや更新に向けても法人全体として取り組む必要があります。こうした事を含め浜松地区、東部地区の2地区制としたそれぞれの地区における中長期計画の策定を行います。

経営管理体制を見直し、法人管理会議と浜松地区、東部地区の管理会議の位置づけを明確にします。

法人本部と各施設、事業所の事務部門の連携を強化し、法人全体の経営状況改善に向けた取り組みを行います。

コンプライアンス、リスクマネジメント等の規定に則り内部監査を行い、内部管理体制の確立を図ります。

社会福祉法人十字の園 行動規範

社会福祉法人十字の園の理事並びに職員は、法人の理念の実現を目指し、キリスト教精神に立って、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して、総合的に提供されるように創意工夫します。

利用者が、個人の尊厳を保持し、地域社会で自立した生活を営むことができるように支援します。
その為に法人の理念を基本姿勢とし、以下の規範を遵守して行動します。

【社会福祉法人十字の園 理念】

「夕暮れになっても光がある」（旧約聖書ゼカリヤ書 14 章 7 節）

「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」

【行動規範】

- 私たちは、一人ひとりの命と個性と権利を大切にします。

私たちは、一人ひとりの命を大切にし、多様性を認め合い性別、年齢、身体や精神状況、家庭環境などで差別をしません。一人ひとりが平等で自由であることを深く認識し、プライバシーを守り自己決定を最大限に尊重した支援に努めます。命とは、一人ひとりに神さまから与えられたかけがえのない大切な命です。

- 私たちは、支援の必要な方に積極的に歩み寄り、必要な支援を届けます。

私たちは、当たり前の支援やしなければならぬ支援を行うだけではありません。多くの困難を抱えた方、支援の難しさのある方を断ることなく、さらに支援が行き届いていない方へ心に向け支援します。そして、支援できるようチーム力を高め創意工夫し、また、地域福祉を推進していきます。そこから湧き起こる喜びや感動が私たちの喜び、糧であります。

- 私たちは、常に自己研鑽に励み、互いに力を発揮し合い協力して支援します。

私たち一人ひとり、それぞれに賜物を授かっています。利用者のより良く、その人らしく「生きる」を支えるため、また、法人の理念の実現を図るため、主体的に自分自身のスキルや能力などを鍛え磨き、十字の園の職員として協働意思を持ち十分にコミュニケーションをとり、互いに力を発揮し合い支援し続けます。

- 私たちは、安心、安全な職場環境を整えます。

私たち一人ひとりが神さまから十字の園に招かれた大切な一員です。職員誰もが当事者意識をもち主体的に、また、お互いに認め合い支え合って安心、安全な職場環境を築き、整えるよう努めます。

- 私たちは、誠実で公正かつ適正な経営を行います。

十字の園は、社会福祉法人として高い公益性が求められます。地域に信頼される法人として法令遵守を徹底するとともに、必要な支援をし続けられるように、また、職員が安心して働き続けられるよう誠実で公正かつ適正な経営に努めます。

2019年2月22日 制定

社会福祉法人十字の園 2020年度事業計画書

『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。』(ヨハネによる福音書15章)
『夕暮れになっても光がある』(ゼカリヤ書14章)

I. 法人事業計画

1. 2020年度事業計画基本方針(重点課題)

「新たな挑戦」

- ① 理念の下に誇りを持って働くことのできる職場づくりの取り組み
- ② 地域のニーズを積極的に捉え、繋がりを強める取り組み
- ③ 経営基盤を整え安心して働き続けられる職場環境を作る取り組み

2. 重点課題への取り組み

- ① 理念の下に誇りを持って働くことのできる職場づくりの取り組み
 - a) 理念教育委員会による理念教育計画の策定と実施。
 - b) 専門部会の資質向上に向けた取り組みの強化。
 - c) 行動規範に基づくサービス基準指針の見直し。
- ② 地域のニーズを積極的に捉え、繋がりを強める取り組み
 - a) 地域包括と各事業所との連携強化による地域ニーズの発掘。
 - b) 総括責任者が各地区の地域ニーズを把握し法人の中長期計画に活かす。
 - c) 法人のホームページを新しくし各施設、事業所の発信力を高める。
- ③ 経営基盤を整え安心して働き続けられる職場環境を作る取り組み
 - a) 新給与制度を実施し、評価制度を人事考課に活かし、キャリアパスによる職員の意欲向上を図る。
 - b) 各地区の老朽化した建物、設備の整備計画を含む中長期計画の策定を行う。
 - c) 各地区の事務部門と法人本部の連携を強化し、法人全体の経営状況の改善を図る。
 - d) 経営管理体制を見直し、法人管理会議と浜松、東部地区の管理会議の位置づけを明確にします。
 - e) 規定に基づく内部監査を実施し、内部管理体制の確立を図ります。
- ④ 浜松地区
 - a) 組織の変更により管理体制を整え、地区一体化の取り組みを強化する。
 - b) サービス基準指針の見直しを行い理念・行動指針に沿ったサービスの質の向上を図る。
 - c) 老朽化した施設の建て替えに向けた準備を進める。
 - d) 地域に知られる取り組み(総合見学会)を進める。
- ⑤ 東部地区
 - a) 各拠点施設の資質の均質化、向上を図るため状況把握と課題の整理を行う。
 - b) 備品、消耗品等の共同調達をするなどスケールメリットを発掘し経営効率を図る。
 - c) 伊東市立養護老人ホーム平和の杜建替を重点課題としながら各拠点施設の中長期事業計画を集約調整し、'22年度から'24年度までを中期、'25年度以降を長期とした東部地区中長期事業計画を作成する。
- ⑥ 第25回十字の園大会
御殿場十字の園が準備・実行を担当し、御殿場で開催する。

3. 2020年度 事業種類・規模・定員等

(数値は定員数、○は実施事業)

事業種類		浜松	御殿場	御殿場 アドナイ	伊豆 高原	アドナイ	松崎	オリブ	伊東 養護	第2 アドナイ	合計	
老人福祉事業	第一種	特別養護老人ホーム	120	107		90		50			367	
		軽費老人ホーム(ケアハウス)			30		50				20	100
		養護老人ホーム(指定管理事業)								50		50
	第二種	老人短期入所(ショートステイ)	20	11		10		9		6		56
		老人デイサービス事業(通所介護)	22	45		27	30	25		15		164
		老人デイサービス(地域密着型)		12(認知症デイ)							10	22
		老人デイサービス(委託・生きがいデイ)								15		15
		老人デイサービスセンター(地域密着型通所)								10		10
		老人デイサービスセンター(地域密着型認知症デイ)									12	12
認知症対応型共同生活介護(GH)		18								18		
老人居宅介護等(訪問介護)		○		○		○		○	○			
障害者福祉事業	第一種	障害者支援施設						22			22	
	第二種	障害福祉サービス(短期入所)		○					2		2	
		障害福祉サービス(生活介護・通所・訪問)		○		○			27		27	
		障害福祉サービス(就労支援B型)							20		20	
		特定相談支援		○					○			
		移動支援		○		○						
地域活動支援センター		15								15		
公益事業	居宅介護支援事業(ケアプラン)		○		2ヶ所		○		○	○		
	地域包括支援センター(委託)		2ヶ所		○		出向					
	患者等輸送事業(介護タクシー)		○		休止							
	診療所	○	○									
公益の事業	老人デイ(根洗荘・自主事業)									○		

4. 2020年度 職員配置計画

(単位;人)

		本部	浜松	御殿場	御殿場 アドナイ	伊豆 高原	アドナイ	松崎	オリブ	伊東 養護	第2 アドナイ	合計	前年計
常勤	専従	4	67	97	2	99	11	41	20	28	25	394	380
	兼務	0	9	27	2	35	7	9	17	34	8	148	160
非常勤	専従	2	47	58	0	55	16	27	6	16	23	250	255
	兼務	0	0	10	1	23	9	2	18	6	10	79	78
合計	専従	6	114	155	2	154	27	68	26	44	48	644	635
	兼務	0	9	37	3	58	16	11	35	40	18	227	238
常勤換算		5	77.2	131.5	3.4	111.2	22.6	58.9	26.6	35.6	39.1	511.1	520.1

5. 2020年度 資金収支予算

①事業活動による収支予算

区分	当年度 (2020年予算)		前年度 (2019年3次補正)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比
	千円		千円	%	千円	%
介護保険事業収入	2,835,620	81.10%	2,772,280	80.46%	63,340	102.3%
老人福祉事業収入	346,005	9.90%	364,813	10.59%	△18,808	94.8%
就労支援事業収入	12,420	0.36%	12,447	0.36%	△27	99.8%
障害福祉サービス等事業収入	246,008	7.04%	234,071	6.79%	11,937	105.1%
医療事業収入	20,370	0.58%	20,340	0.59%	30	100.1%
借入金利息補助金収入	197	0.01%	323	0.01%	△126	61.0%
経常経費寄付金収入	6,751	0.19%	6,820	0.20%	△69	99.0%
受取利息配当金収入	23	0.00%	24	0.00%	△1	95.8%
その他の収入	29,151	0.83%	34,450	1.00%	△5,299	84.6%
事業活動収入合計	3,496,545	100.00%	3,445,568	100.00%	50,977	101.5%
人件費支出	2,454,157	70.19%	2,442,080	70.88%	12,078	100.5%
事業費支出	512,371	14.65%	508,434	14.76%	3,937	100.8%
事務費支出	283,698	8.11%	284,741	8.26%	△1,043	99.6%
就労支援事業支出	13,420	0.38%	12,390	0.36%	1,030	108.3%
利用者負担軽減額	4,248	0.12%	4,168	0.12%	80	101.9%
支払利息支出	6,494	0.19%	7,700	0.22%	△1,206	84.3%
その他の支出	17,352	0.50%	17,077	0.50%	275	101.6%
流動資産評価損等による資金減少額		0.00%	130	0.00%	△130	0.0%
事業活動支出計	3,291,740	94.14%	3,276,720	95.10%	15,020	100.5%
事業活動資金収支差額	204,806	5.86%	168,849	4.90%	35,957	121.3%

②資金収支予算実績年度推移

(単位：百万円)

	2020年度 予算	2019年度 実績見込	2018年度 実績	2017年度 実績	2016年度 実績
事業活動収入計(1)	3,496	3,445	3,450	3,371	3,310
事業活動支出計(2)	3,291	3,276	3,186	3,171	3,147
事業活動資金収支差額(3=1-2)	204	168	264	200	163
施設整備等収入計(4)	57	187	808	37	118
施設整備等支出計(5)	223	341	1,036	204	318
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△166	△154	△228	△166	△200
その他の活動収入計(7)	29	39	81	41	86
その他の活動支出計(8)	25	42	79	39	33
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	4	△3	1	2	53
予備費支出(10)	-	3	-	-	-
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	43	7	38	36	15

6. 2020年度 借入金等の計画

① 新規借り入れ実施計画

- ・ 御殿場十字の園外壁塗装工事資金として5,000万円を、民間金融機関から借入する予定。

② 2020年度借入金返済計画

2020年度償還表

単位；円

施設名	借入先 融資年度	元金償還金	利子	元金補給	利子補給	年度末残高	自己資金
浜松 十字の園	静岡銀行 18	3,324,000	268,815	0	0	40,859,000	3,592,815
御殿場 十字の園	静岡銀行 14	4,680,000	238,758	0	0	37,240,000	4,918,758
	静岡銀行 16	3,996,000	269,159	0	0	42,684,000	4,265,159
	静岡銀行 17	1,500,000	64,912	0	0	10,375,000	1,564,912
伊豆高原 十字の園	静岡銀行 18 ※(11 福医)	52,488,000	3,079,942	0	0	511,712,000	55,567,942
	静岡銀行 19 ※(11 静銀)	11,640,000	776,077	0	0	116,420,000	12,416,077
アドナイ館	静岡銀行 13	6,000,000	108,000	0	0	12,000,000	6,108,000
松崎 十字の園	福・医機構 02	11,250,000	380,800	5,250,000	156,800	11,250,000	6,224,000
オリブ	福・医機構 02	2,750,000	95,200	1,750,000	39,200	2,750,000	1,056,000
第2アドナイ 館	静岡銀行 18 ※(09 福医)	5,760,000	338,419	0	0	56,230,000	6,098,419
	静岡銀行 19 ※(09 静銀)	4,102,000	235,962	0	0	34,878,000	4,337,962
合計	福祉医療機構	14,000,000	476,000	7,000,000	196,000	14,000,000	7,280,000
	静岡銀行	93,490,000	5,380,044	0	0	862,398,000	98,870,044
	合計	107,490,000	5,856,044	7,000,000	196,000	876,398,000	106,150,044

※(〇〇福医・静銀)は、福祉医療機構・静岡銀行からの〇〇年融資分を借換したことを示す。

③ 2020年度ファイナンスリース返済計画

単位；円

施設名	物件	年間支払額	年度末リース残高
法人本部	給与・財務(パソコン・サーバー)	1,464,480	2,440,800
御殿場	有形リース資産(キャラバン 2055)	513,600	513,600
御殿場	有形リース資産(キャラバン 2056)	624,000	1,352,000
御殿場	無形リース資産(ソフトウェア・サーバー)	643,896	0
伊豆高原	有形リース資産(サーバー)	733,536	1,405,944
伊豆高原	無形リース資産(ソフトウェア)	677,808	1,299,132

松崎	有形リース資産（省エネ改修設備）	10,780,128	125,768,160
松崎	有形リース資産（介護記録システム）	1,014,120	1,014,120
松崎	有形リース資産（電話コール）	1,824,768	2,128,896
松崎	有形リース資産（ビルエネルギーマネジメント）	485,460	1,375,470
オリブ	有形リース資産（介護記録システム）	1,014,120	1,014,120
合 計		19,775,916	138,312,242

7. 施設設備・固定資産整備、修繕計画、その他特別事業について

① 浜松十字の園

スチームコンベクション更新 110 万円、ブラストチラー更新 103 万円

② 御殿場十字の園、御殿場アドナイ館

外壁塗装工事 7,200 万円、ヒノキ風呂更新 150 万円

通所送迎リフト車 1 台 350 万円、介護リフト・移乗支援機器 150 万円

③ 伊豆高原十字の園

（100 万円以上の計画は無し）

③ アドナイ館

ボイラー更新 500 万円

④ 松崎十字の園、オリブ

加圧給水ユニットポンプ交換 400 万円、非常用照明誘導灯バッテリー交換 200 万円

エレベーター部品交換 120 万円、電源 PAS トランス高圧ケーブル交換 150 万円

うさぎビル住居部改修 160 万円（補助金有）、ノートパソコン更新 200 万円

プレハブ冷蔵庫 300 万円（共同募金に申請予定）

⑤ 伊東市立養護老人ホーム

大型洗濯機 3 台 200 万円（伊東市予算で設置）

⑥ 第 2 アドナイ館

（100 万円以上の計画は無し）

II. 地域福祉及び公益的取組の推進

① 浜松地区

- ・浜松市北区子供チャレンジお仕事体験に参加し、子供たちの福祉介護への関心や理解普及を図る
- ・施設の総合見学会を開催し、地域住民、介護福祉関係者に福祉資源の見える化を推進する
- ・認知症カフェの開催

（浜松十字の園）

- ・聖隷クリストファー高校職事学習、奉仕活動（労作）の受入れ

- ・実習受入（福祉・看護・栄養士等の教育機関）・ボランティアの受入・中学校ボランティア受入（オリエンテーションの中で十字の園のDVDを使い、福祉の実践例を紹介している）。

（アドナイ館）

- ・デイ利用者と地域の幼稚園園児との交流会、・地域のこども園園児とケアハウス入居者との交流

- ・細江町文化祭に参加して地域との交流を図る、・湖東地区の夏祭りに参加し交流を図る

- ・北区ほそえ市民ふれあい広場（バザー）に参加し交流を図る、介護福祉系大学実習生受入れ、中学生の職場体験学習の受入れ

- ・地域へ、ソーシャルワーク機能を展開（福祉なんでも相談）

（第 2 アドナイ館）

- ・地域カフェ、サロンの開催、講座などを企画、・デイ事業所を地域に開放し運動の機会を提供、・バザーの開催、・ボランティアの受け入れ、・中学生の介護体験受入

② 東部地区

（御殿場十字の園）

- ・地域の介護力向上を目指し介護職員初任者研修を開校、施設専門職員が講師を担当
- ・小学生の福祉教育、中高生の職業体験やボランティア及び実習生を積極的に受け入れ福祉人材の育成を図る
- ・在宅家族介護者教室（絆の会）を回開催し、在宅家族の介護力の向上や交流を図っている
(伊豆高原十字の園)
- ・伊東市・市社協等と連携した地域活動支援事業(居場所づくり等)・介護予防支援事業の実施、地域交流ホールの無料貸し出し、・対島地域ふるさと協議会と連携した認知症の勉強会、サロンなどへの協力（送迎含む）、・計画的な介護体験の実施、
(伊東市立養護老人ホーム)
- ・伊東市立大池小学校4年生との交流会、・ショートステイの緊急受入れ（DV等）・デイサービス事業所での地域住民の参加行事の企画、開催、
(松崎十字の園)
- ・在宅利用者等の緊急（虐待等の対象者）受け入れ・地域ふれあい広場への出品、・地域園児、生徒、学生との交流、・町役場の包括支援センターに職員を派遣する

Ⅲ. 法人の役員・施設長等に関する事項

1. 評議員会

役職名	氏名	重要な兼職の状況
評議員	青木 雅人	一般財団法人日本老人福祉財団 理事長
評議員	稲松 義人	社会福祉法人小羊学園 理事長
評議員	影山 浩二	社会福祉法人慈悲庵 業務執行理事
評議員	兼子 邦子	社会福祉法人明和会 袋井市立可睡寮 施設長
評議員	小柳 守弘	学校法人聖隷学園 専務理事
評議員	津幡 佳伸	社会福祉法人聖隷福祉事業団 常務理事
評議員	長谷川 新	
評議員	森 茂廣	小規模多機能センターりん 施設長

注；任期は、2017年4月1日から2021年6月開催予定の定時評議員会終結の時までです。

2. 評議員選任解任委員会（任期は、評議員と同じです。）

役職名	氏名
評議員選任解任委員（外部委員）	張田 眞
評議員選任解任委員（外部委員）	尾崎 國子
評議員選任解任委員（監事）	山崎 陽司
評議員選任解任委員（監事）	上野 貢一
評議員選任解任委員（法人の事務局）	鈴木 宏明

3. 理事、施設長

(1) 理事

役職名	氏名	2020年度の担当及び重要な兼職の状況
代表理事	鈴木 淳司	十字の園 理事長 浜松地区総括理事
理事	山本 隆弘	十字の園 法人本部長
理事	宮島 克利	十字の園 東部地区総括理事 伊豆高原十字の園施設長
理事	小川 秀幸	十字の園 松崎十字の園・オリブ施設長
理事	鈴木 啓之	十字の園 伊東市立養護老人ホーム施設長
理事	三條 洋二	十字の園 常勤理事（～6月30日）非常勤理事（7月1日～）
理事	鈴木 新	十字の園 非常勤理事

注；任期は、2019年6月17日から2021年6月開催予定の評議員会終結の時までです。

(2) 施設長

職位	氏名	2020年4月1日付の役職名
施設長	古橋 美恵子	(新任) 浜松十字の園施設長
施設長	河出 雅代	(新任) アドナイ館施設長 兼 第2アドナイ館施設長
施設長	高橋 雅昭	(新任) 御殿場十字の園施設長 兼 御殿場アドナイ館施設長
施設長	宮島 克利	(異動) 伊豆高原十字の園施設長
施設長	小川 秀幸	(異動) 松崎十字の園施設長 兼 オリーブ施設長
施設長	鈴木 啓之	伊東市立養護老人ホーム施設長

4. 監事

(1) 監事

役職名	氏名
監事	山崎 陽司
監事	上野 貢一

注；任期は、2019年6月17日から2021年6月開催予定の評議員会終結の時までです。

IV. 会計監査人に関する事項

- ① 会計監査人の名称 かがやき監査法人
- ② 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

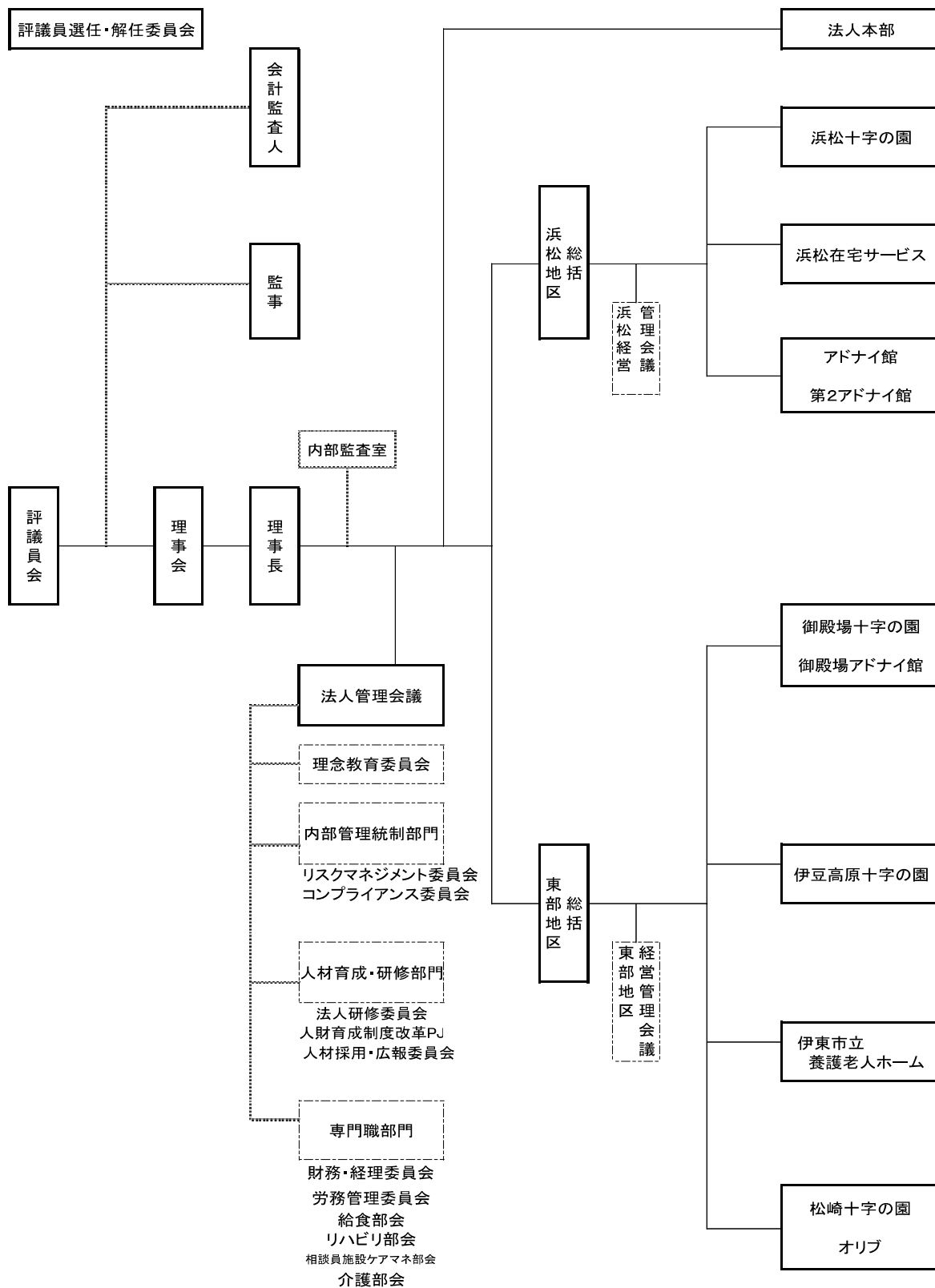
理事会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、監事全員の同意を得た上で、または監事全員の請求に基づいて、会計監査人の解任または不再任を評議員会の議題として決議を求めるとしてしています。監事は、会計監査人が社会福祉法第45条の5第1項各号に該当すると認められる場合は監事全員の同意に基づき、会計監査人を解任します。この場合、監事は、解任後最初に召集される評議員会において、解任の旨およびその理由を報告します。

V. 2020年度 主要会議、研修、監査 年間計画

区分	理事会	評議員会	監事監査 監査法人監査	法人管理会議	法人職員研修	その他
4月			24日監査法人	27日 第1回	新職員研修	辞令交付式 委嘱状交付
5月	29日 事業報告 決算・その他		5-18日 監査法人監査 監事監査 事業報告決算	22日 第2回		
6月		15日 決算報告		26日 第3回	中堅研修Ⅰ	6月末決算資産登記
7月				31日 第4回	中堅職員Ⅱ	7/1 機関誌発行
8月				28日 第5回		内部監査
9月	28日業務執行 報告、その他			25日 第6回	リーダー研修	永年勤続表彰 内部監査
10月				30日 第7回	中途新任職員研修	15-16日 十字の園大会
11月	30日補正予算 その他		監事定期監査	24日 第8回		
12月				18日 第9回		12/1 機関誌発行
1月				22日 第10回		20 創立記念日
2月				26日 第11回	リーダーフオー ローアップ研修	
3月	12日事業計画 当初予算他	22 事業計画 当初予算他		5日 第12回		

VI. 法人組織図

社会福祉法人十字の園 2020(令和2)年度 法人組織機構図



法人本部 2020年度 事業計画

I. 基本理念

A. 精神的基盤

『夕暮になっても光がある』（聖書：ゼカリヤ書 14 章）と『人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。』を法人の基本理念とし、定款に掲げる「キリスト教の精神に立ってサービスを提供し利用者を支援する」ことを目的とする。また、職員一人ひとりが、十字の園行動規範に沿った業務遂行に努める。

B. 運営方針

1. 創立の精神（こころ）を受け継ぐための実践。
 - ・朝の礼拝に参加する。朝礼で「日々の聖句」を朗読する。
2. 新しい組織体制への改変
 - ・法人組織の2地区制への移行と施設長交代後の組織運営を円滑に進めるため、情報の整理・統合・共有を図る。
 - ・浜松地区の組織変更を円滑に進めるため、法人本部組織の役割分担を行い、対応する。
3. 地域との共生社会の実現
 - ・浜松地区で実施される3施設総合見学会の発展拡大に協力する。
 - ・浜松地区各事業所の地域活動、催し物等に参加・協力できるよう体制を整える。
4. 採用・人材育成の取組と研修の連動による働き甲斐の創出
 - ・新賃金体制が円滑に浸透されるよう、必要に応じて取扱いを検討していく。
5. 内部管理体制と中長期計画の策定により経営の健全化に向けて取り組む
 - ・内部管理体制適正化に必要な環境を整備する（コンピューター、ソフトウェア等）。

II. 事業計画

1. 労務・人事管理
 - ・朝礼や会議前に行動規範を復唱し、十字の園の職員であることの自覚を促す。
 - ・事務処理の効率化、適正化を目指し、新しい技術・知識を学び、実践していく。
 - ・法人全体のメンタルヘルス対策の実施計画の検討・立案。
 - ・2021年度の介護職新卒採用5名を目指して採用活動を推進する。
 - ・法人組織の2地区制に伴う労務管理等のフォローに注力する。
2. 財務
 - ・浜松地区の組織変更に伴い法人本部経理担当が地区事務に異動するため、経理業務の引継ぎとフォローを的確に進める。
 - ・会計に関する研修に積極的に参加し、必要な知識を身につけ、実務に活かす。
 - ・課長職による財務・経理部会を主管し、運営する。
3. 総務
 - ・法人内ネットワーク変更に伴う環境設定の整備を行う。
 - ・ペーパーレス化に向けた検討を行う。
 - ・法人ホームページのリニューアルを円滑に進め、発信力の強化につなげる。
4. 職員体制
常勤；理事長、本部長、課長2名、事務担当（年度内に補充する）、非常勤理事2名

III. その他（修繕・固定資産備品購入予定）

- ・Beat-boxの更新
- *100万円以上の整備、修繕計画は特になし。

特別養護老人ホーム 浜松十字の園 2020 年度事業計画

I. 基本理念

夕暮れになっても光がある

人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。

運営方針

A. 精神的基盤

十字の園は、キリスト教信仰者であるドイツ人ハニ・ウォルフ氏が高齢者の寝たきり、自殺といった開設当時の日本の課題を自分の事として捉え、これを解決することが、自分に神様が与えた使命と受け取り事業が始められた。

私たちは、聖書を通じて示されたイエス・キリストの十字架の愛を、模範とした先達の思いを精神的基盤とし、職場における礼拝や聖書の言葉を聞くことを大切にする。

B. 今年度方針

- ・地区としての一体化を進め、理念・行動規範に沿った信頼し合えるチーム作りをする。
- ・老朽化した建物の建て替えに向けた準備を一体的に進める。

II. 事業計画

A. 運営目標・事業計画

1. 特別養護老人ホーム・短期入所

- ① 利用者中心に考えられ、信頼関係を持てるチームをつくる。
- ② 自分の行動を振り返った時に、利用者の笑顔があるか考えられる職員になる。
- ③ 特養・短期入所の相談員が連携をして稼働率の改善を図る。

2. 通所介護

- ① その方に合ったリハビリプログラムの提供をし、利用者の「やりたい」を引き出す。
- ② お互いの役割を明確化して同じ認識の中で信頼しチームとして支援できるようになる。

B. 数値目標

	特 養	短 期	通 所	事業活動収入計
利用定員	120 人	20 人	22 人	
利用者延数	42,705 人	5,840 人	5,593 人	
1 日平均利用者数	117 人	16.4 人	18.0 人	
稼働率、稼働指数	97.5%	80.0%	82.0%	
稼働日数	365 日	365 日	310 日	
単価（一人一日当たり）	11,524 円	11,021 円	9,248 円	
介護保険事業収入	492,150 千円	64,360 千円	51,730 千円	616,285 千円
職員数（常勤換算）	61.3 人	9.7 人	6.2 人	77.2 人

III. 事業種別・規模

- ・介護老人福祉施設 [特別養護老人ホーム] (120 名)
- ・短期入所生活介護および介護予防短期入所生活介護 (20 名)
- ・通所介護事業および介護予防・日常生活支援総合事業 (22 名)
- ・診療所

IV. 職員について

A. 配置計画

職種区分	事業名	施設長		事務員		相談員		介支専門 護援員		看護師		介護士		訓練士能 師		医師		栄養士		調理師		介助員		その他		合計	
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
介護福祉施設	常勤		1	7		1	1	1	1	5		37		1					2							54	3
	非常勤											15		1		4							9		5	34	0
短期入所	常勤		1	1		1				1		6														9	1
	非常勤									1		2											2			5	0
通所介護	常勤		1			1				1	1	2		1	1										2	4	5
	非常勤									2		4													2	8	0
合計		0	3	8	0	3	1	1	1	9	1	66	0	3	1	4	0	2	0	0	0	11	0	7	2	114	9

B. 職員組織について

施設管理	施設長 古橋美恵子 診療所長 後藤幸一
浜松地区経営管理会議	鈴木淳司、古橋美恵子、河出雅代、鶴見俊輔、鈴木宏明、小杉佳弘
特養運営会議	古橋美恵子、鶴見俊輔、鶴見圭秀、鈴木清香、湊満子、鈴木宏明
特養リーダー会議	榎林直明、奥村金太郎、山村静江、宮本隆久、天野由紀子、富田健義、畑中佳子、田中麻貴、鈴木貴士、永田昌代、加茂眞理
デイサービス会議	小杉佳弘、安田匡豊、塚田えり子、川端美香、山崎淳司、栗田洋平、倉田真樹
事務会議	鈴木宏明、金原忍、金谷一作、三木義史、夏目勝志、柳川幸、松井光智
防火管理者	三木義史
衛生管理者	加藤義孝、金原忍
苦情解決委員会	古橋美恵子、永田昌代、平野香織里、安田匡豊、森島麻貴 第三者委員（野崎玲子、渡邊禎子）
入所判定委員会	古橋美恵子、鶴見俊輔、永田昌代、平野香織里、加藤義孝 外部委員（野崎玲子、渡邊禎子）

V. 年間事業（行事）計画

区分	内容
全体で行う行事	イースター、夏祭り、敬老会、クリスマス、新年会
各ユニット・事業所の行事	花見、新茶、七夕、敬老会、餅つき、クリスマス、新年会、節分、外出誕生会、家族会等
保健・医療・衛生管理	利用者健康診断（年1回）、職員健康診断（年2回）、大掃除、防虫消毒
職員研修	新人研修、現任研修、委員会主催研修、ハラスメント研修、外部研修
職員会議	年1回：職員全体会議 月1回：特養運営会議、リーダー会議、ユニット会議、給食会議、安全衛生委員会、優先入所判定委員会、事故対策委員会、感染症対策委員会 身体拘束適正化検討委員会 年2回以上：苦情解決委員会
保安防災対策	防災訓練（毎月）[火災想定・地震想定・夜間想定]、防災会議（毎月）
入居者自由参加行事	喫茶室（週4日）、お茶会、書道、民謡踊り、生け花、歌の会

VI. 固定資産購入、修繕等

購入：スチームコンベクション更新、プラスチック更新、食器洗浄機更新、看護室エアコン更新

総合福祉施設 御殿場十字の園 2020 年度事業計画

I. 基本理念

A. 精神的基盤

1. 聖書の「夕暮れになっても光がある」と「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。」とを理念として、教会とつながりキリスト教の精神に立って、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫し、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるように支援する。
2. 聖書のみ言葉『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい』を大切に、朝の礼拝で心を養い、職員が共通認識のもと一体となって、地域と協働しながら、利用者一人一人の人生に共感し、安心とその人らしい主体的な生活を支えるために、心豊かな「福祉の文化の創造」を目指し取り組む。

B. 運営方針

1. 利用者一人ひとりを大切に、その人らしい主体的な暮らしの実現を目指す。
2. 多様なニーズに対し断らないワンストップで対応できる拠点施設として、総合的に支援する。
3. 職員の各専門性の向上とともに、働く意欲、チームワークを高めあう。
4. 安定した経営基盤を構築する。
5. 施設や地域の課題に敏感に気づき解決に向け取り組む。

(重点取組事項)

- ① 介護支援ソフトの見直し導入
- ② 外壁補修工事の実施
- ③ ノーリフトケアに向けた環境整備及び老朽化したヒノキ風呂の更新
- ④ 現金預金対事業活動支出比率の向上及び積立の実施
- ⑤ 職員行動規範を含めた改訂版サービス指針の理解、浸透を図る
- ⑥ 施設開設 50 周年記念誌等の発行準備
- ⑦ 第三者評価の受審

II. 事業計画

A. 運営目標・事業計画

<介護保険事業>

1. 介護老人福祉施設

- ① 5S 活動の定着及び業務手順書の整備浸透を図り、業務改善やサービスの均質化を進める。
- ② ノーリフトケアの推進や業務前ストレッチなど徹底し、職員の腰痛予防、負担軽減を図る。

2. 短期入所

- ① 一人一人に合わせた居室の整備や生活リズムを尊重し、自宅と同じように過ごせるよう支援する。
- ② いつでも緊急時の対応や受け入れができるよう業務手順書等の整備浸透を図る。

3. 通所介護

- ① 柔軟な送迎対応や支援メニューの充実化を図るとともに、ケアマネ等と細目に連絡を取り合い、一人一人に合った支援に努める。また、利用率の向上を図る。
- ② 食前の口腔体操の実施や機能訓練の強化充実を図り、生きがいや自立支援に向け取り組む。

4. 訪問介護

- ① 「共に行う」意識を職員間で共有しお互いに向上しあえる職場を築く。
- ② 利用者のモニタリングを丁寧に実施するとともに、ケアマネ等と細目に連絡を取り合い迅速に対応し、一人一人に合った支援に努める。また、利用率の向上を図る。

5. 認知症対応型通所介護

- ①他施設見学や研修に参加し職員の認知症に関する理解を深め専門性の向上を図る。
- ②在宅での生活が継続できるよう他部署と連携し、利用者、家族の生活環境に沿って支援する。

6. 認知症対応型共同生活介護

- ①GHの意義を職員間で共通理解し、一人一人主体的にいきいきとした生活が送れるよう支援する。
- ②利用者の重度化や看取り対応の強化を図るため職員の資質向上や医療的ケアの充実を図る。

7. 居宅介護支援

- ①ニーズを断らず迅速丁寧に対応し、また、地域包括ケアシステムの構築に沿って支援する。
- ②重篤な利用者、看取りまで対応できるよう医療機関等との連携や職員の資質向上を図る。

8. 地域包括支援センター

- ①住民マップ作成を通し地域を知り、地域住民や行政など関係機関と協力して地域づくりを推進する。
- ②地域ケア会議の理解促進や入退院時の連携方法等の標準化に向け取り組む。

<障害者総合支援事業>

9. 居宅介護、同行援護

各障がいや難病等の理解を深めつつ、多職種と連携し障がい者への介護支援等の充実を図る。

10. 短期入所

障がいに関する理解を深め、一人一人のニーズを理解、把握し個別対応していく。

11. 地域活動支援センター

- ①やっぱりと思って足を運び、またねと笑顔で帰られるような居場所をつくる(やっぱりくろちよ大作戦)。
- ②共に成長させていただき共生の場として、利用者と一緒に様々なことに挑戦する(まだ見ぬ先へ大作戦)。

12. 移動支援

円滑な外出支援や通院介助等を行い、地域での暮らしを支える。

13. 相談支援

- ①多職種や他機関との情報の共有を徹底し、一人ひとりと向き合い寄り添った支援をする。
- ②利用者の声に耳を傾け、「伝える」責任を担い、関係機関と連携しより住みやすい街づくりに繋げる。

<その他の事業>

14. 診療所

- ①積極的に利用者に関わりつつ、多職種と連携し看取りや緊急時の対応の強化を図る。
- ②年2回の感染症に関する研修会の開催及び標準予防策の徹底を図り、感染症の流行を防ぐ。
- ③口腔・機能訓練：介護職へのアドバイスや連携をし、口腔内器質維持や身体機能の向上を図る。

15. 介護タクシー事業

困難事例や緊急時の利用を積極的に行う。

16. ボランティアの受け入れ

ニーズに即応するよう調整すると共に、行事等の補助や見守りボランティアを積極的に受け入れする。

17. その他

- ①地域の介護力向上に向け市と連携し家族介護者教室を開催する。
- ②給食：簡単で気軽に行える食のイベントの開催、食事摂取状況のこまめな確認、職員に対するトロミ剤の正しい使い方講習会の開催、給食委託会社と共有、連携を図り、よりよい食事提供をする。
- ③事業所や他部署のバックアップにつながるよう事務所業務の資質向上を図る。
- ④5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底、壁紙の張替えや設備備品の更新を順次行い、清潔感のある居心地の良い施設環境を維持整備する。
- ⑤「腰痛欠勤者ゼロ」を目指し、安全衛生おける職員相談体制の充実化、腰痛予防を推進する。

B. 数値目標

	特養	短期	通所介護	認知通所	訪問介護	居宅介護支援	地域包括支援センター
利用定員数	107人	11人	45人	12人			
利用者延数	38,735人	3,660人	9,880人	3,388人	3,600時間	2,640人	
一日平均利用者数	106人	10人	27人	10人	10時間	月220人	
稼働率、稼働指数	99.18%	91.16%	60.15%	91.08%			
稼働日数	365日	365日	365日	310日	365日	12月	365日
単価(一人一日当たり)	11,658円	16,520円	9,912円	13,626円	6,808円	15,463円	
収入	451,555千円	60,463千円	97,927千円	41,819千円	24,509千円	40,821千円	58,571千円
職員数(常勤換算)	63.5人	6.2人	14.9人	5.7人	4.9人	5.8人	8.0人
	地域活動支援センター	障がい者短期入所	障がい者居宅介護	同行援護	障がい者移動支援	障がい者相談支援	介護タクシー
利用定員数	15人						
利用者延数	3,108人	180人	780時間	710時間	60時間	387人	1,800人
一日平均利用者数	12人	0人	2時間	2時間	0時間	月32人	5人
稼働率、稼働指数	85.00%						
稼働日数	258日	365日	365日	365日	365日	12月	365日
単価(一人一日当たり)	7,219円	24,728円	4,446円	4,711円	3,683円	22,375円	813円
収入	22,438千円	4,451千円	3,468千円	3,345千円	221千円	8,659千円	1,463千円
職員数(常勤換算)	4.5人	0.3人	1.4人	0.1人	0.1人	1.0人	0.3人
	グループホーム	事業活動収入計					
利用定員数	18人						
利用者延数	6,534人						
一日平均利用者数	18人						
稼働率、稼働指数	99.45%						
稼働日数	365日						
単価(一人一日当たり)	13,444円						
収入	87,844千円	907,554千円					
職員数(常勤換算)	14.7人	131.5人					

※収入は
介護保険事業収入、障害福祉サービス事業収入

III. 事業規模

介護老人福祉施設(107)、短期入所生活介護(11)、通所介護(45) 認知症対応型通所介護(12)
認知症対応型共同生活介護(18)、訪問介護、居宅介護支援、各予防事業、地域包括支援センター2か所、
地域活動支援センター(15)、居宅介護、身障短期、同行援護、相談支援、診療所、介護タクシー

IV. 職員について

A. 配置計画

職種区分	施設長	事務員		生計談員活		支介門員援護		看護師		介護士		訓練士能		医師		栄養士		調理師		介助員		その他		合計		
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	
介護福祉施設	常勤	1	4	1	1	2	3	35	2	1	1			1								1	46	8		
	非常勤							5	12	2			2									4	23	2		
ショートステイ	常勤	1			1			6																6	2	
	非常勤							1	2	2		1										1	4	3		
デイサービス	常勤			2	2			9	1	1	1													12	4	
	非常勤							1	3	3												2	1	6	4	
ホームヘルパー	常勤							3	2															3	2	
	非常勤									11														11	0	
居宅介護支援	常勤					5	1																	5	1	
	非常勤					1																		1	0	
地域包括	常勤			3		3		2																8	0	
	非常勤																							0	0	
グループホーム	常勤					2		1	12	2														12	5	
	非常勤								6															6	0	
認知症デイ	常勤			1	1			2	1															3	2	
	非常勤							1	3															3	1	
身障地域活動	常勤				1			2	2															2	3	
	非常勤				1			2														1		4	0	
合計	1	1	4	1	8	6	9	5	12	5	108	14	2	3	2	0	1	0	0	0	0	0	8	2	155	37

B. 職員組織について

施設管理	施設長 高橋雅昭、診療所長 江藤秀顕
運営会議	高橋雅昭、杉山 潔、塚本りつ子、高木直也
責任者会議	高橋雅昭、杉山 潔、塚本りつ子、高木直也、池谷洋子、山本健太、猪越貴史、田代みどり、杉崎由宗、宮地秀明、小野真樹、勝俣和也、勝俣千絵、芹澤保憲、杉山かおる、武藤繁生、千田晶子、武山幸浩、大西由佳利
防火管理者	施設：芹澤保憲、武藤繁生（副）、猪越貴史（副） グループホーム：高橋直輝
苦情解決委員会 (受付担当者)	高橋雅昭、塚本りつ子、猪越貴史、田代みどり、小野真樹、杉山かおる、武藤繁生、杉崎由宗、勝俣和也、勝俣千絵、芹澤保憲、宮地秀明、杉山潔、武山幸浩
衛生管理者	大西由佳利
苦情解決第三者	小松 保、中垣内紀子

V. 年間事業（行事）計画

区分	内 容
全体で行う行事	イースター、夕涼み会、敬老の日、クリスマス、召天者記念礼拝（施設）
施設ユニットの行事	花見、遠足、七夕、紅葉狩り、忘年会、もちつき（階）、新年会、節分、外出、誕生会 寿司パーティー、よりあい、家族懇談会等
通所介護の行事	花見、遠足、流しそうめん、バーベキュー、紅葉狩り、新年会、そば打ち、誕生会等
保健・医療・衛生管理	利用者健康診断（6月）、職員健康診断（6、11月）、インフルエンザ予防接種（12月）
職員内部研修	階層別内部研修、感染症対策、接遇マナー、虐待防止、認知症対応、他別紙研修計画に沿う
職員会議	運営会議（月2回）、責任者会議（月1回）、寮棟会議（毎月）、ユニット会議（月1回）、リスクマネジメント委員会（月1回）、サービス質向上委員会（月1回）
保安防災対策	防災会議（毎月）、防災訓練（毎月）
利用者自由参加行事	衣類販売、習字教室、陶芸教室、花の友の会、ふれあい広場、

VI. その他（修繕・固定資産購入等）

- ・外壁塗装工事
- ・各階ヒノキ風呂の更新
- ・寮棟居室、フロア的环境整備(トイレ扉の改修、フロア壁紙張替え、テーブルや椅子、カーテン、インテリア等の更新)
- ・送迎車両等の更新3台(通所介護リフト車両1台、訪問用軽自動車2台)
- ・身障デイトイレの改修(フラット型トイレ⇒便座型トイレに改修)
- ・介護リフト、移乗支援機器の購入
- ・車椅子(普通、リクライニング用)の4台更新
- ・居宅介護支援事業所内電話機増設
- ・厨房内パススール冷蔵庫の更新

軽費老人ホーム（ケアハウス）御殿場アドナイ館 2020 年度事業計画

I. 基本理念

A. 精神的基盤

1. 聖書の「夕暮れになっても光がある」と「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。」とを理念として、教会とつながりキリスト教の精神に立って、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるように支援する。
2. 聖書のみ言葉から「それでアブラハムはその所の名をアドナイ・エレと呼んだ。これにより、人々は今日もなお『主の山に備えあり』と言う。」創世記22章14節。主が備えてくださったこの施設に住む者が、安心して心豊かに生活が出来るように、職員が朝の礼拝で心を養う。そして、入居者のきめ細かな生活支援に努める。

B. 運営方針

1. 入居者が明るく楽しく心豊かに生活できるよう支援する。
2. 入居者の余暇の充実や入居者同士の互助を促進し生活の質の向上を目指す。
3. 職員のソーシャルワーク実践力を高め、地域の様々な生活困窮者への支援に努める。
4. 職員の各専門性の向上とともに、働く意欲、チームワークを高めあう。
5. 入居希望者の増加を図り健全な経営に努める。

II. 事業計画

A. 事業目標(計画)

1. 利用者の健康維持、向上に努める。
 - 1) 健康体操教室を月2回、散歩会を月1回は継続的に開催する。
 - 2) 要介護者等への日常生活支援サービスの充実及び他職種への連携を図る。
 - 3) 契約当時の家族や保証人等の高齢化に対し、再度、緊急時の対応や保証人の確認をする。
2. 生活の充実を図る。
 - 1) カラオケクラブ、茶話会（お菓子作り等）、気楽会（外食等）、春秋遠足、毎月の親睦会の充実を図り、楽しみながら入居者同士の交流の促進及び、体力維持や心の平安に繋げる。
 - 2) 買い物などの送迎サービスを週3回程度定期的に行う。
 - 3) 利用者同士の助け合いやボランティア活動を尊重し互助の関係を促進していく。
 - 4) 1人では買物など外出が難しくなっている方への外出・買い物付添い支援を月2回実施する。
3. 入居待機者の確保を図る。
 - 1) 御殿場十字の園ホームページや機関誌に、入居者・待機者募集と施設案内を掲載する。
 - 2) 市内医療機関や介護事業所及び県外へもパンフレット等を送付する。
 - 3) 待機者に対して定期的に状況確認や現在の待機状況等についてお知らせしていく。
4. 他職種、他事業所との連携の強化に努める。
 - 1) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、医療機関や関係機関との連携を強化する。

B. 数値目標

利用定員数	30人	
利用者延数	10,950人	
一日平均利用者数	30人	
稼働率、稼働指数	100.0%	
稼働日数	365日	
単価(一人一日当たり)	5,759円	事業活動収入計
老人福祉事業収入	63,060千円	63,116千円
職員数(常勤換算)	3.4人	

Ⅲ. 事業規模

ケアハウス (定員; 30名)

Ⅳ. 職員について

A. 配置計画

職種区分		施設 管理者	事務 員	生相 談 活 員	介支 専門 護 援 員	看 護 師	介 護 士	機 能 士	訓 練 士	医 師	栄 養 士	調 理 師	介 助 員	そ の 他	合 計		
事業名		専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務
ケアハウス	常勤	1	1	1			1				1	業 者 委 託				2	2
	非常勤						1										0
合 計		0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3

B. 職員組織について

施設管理	施設長 高橋雅昭
施設運営会議	高橋雅昭、杉山 潔、塚本りつ子、高木直也
職員会議	高橋雅昭、武山幸浩、千田晶子、杉山潔 (看護師)
防火管理者	芹澤保憲、武藤繁生 (副)、猪越貴史 (副)
苦情解決委員会 (受付担当者)	高橋雅昭、塚本りつ子、猪越貴史、田代みどり、小野真樹、杉山かおる、武藤繁生、杉崎由宗、勝俣和也、芹澤保憲、宮地秀明、杉山潔、武山幸浩
第三者委員	小松 保、中垣内 紀子

Ⅴ. 年間事業 (行事) 計画

区 分	内 容
全体で行う行事	花見、夕涼み会、園遊会、クリスマス会、新年挨拶会、餅つき大会
保健・医療・衛生管理	6月入居者検診 6月、10月職員検診 11月利用者・12月職員インフルエンザ予防接種
職員内部研修	施設見学研修、ケアハウス相談員研修
職員会議	職員会議月1回 運営会議月2回
	責任者会議月1回
保安防災対策	防災担当者会議 リスクマネジメント委員会 防災訓練 各月1回
自由参加行事	散歩会 (毎月)、気楽会 (隔月)、カラオケクラブ (毎月)、茶話会 (隔月)、春秋遠足

Ⅵ. その他 (修繕・固定資産購入等)

・外壁補修工事

特別養護老人ホーム 伊豆高原十字の園 2020年度 事業計画

I. 基本理念

A. 精神的基盤

法人の理念『人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります』を実践するため、礼拝を守り、十字の園の職員として誇りを持って行動できるよう行動規範を浸透させます。

B. 運営方針

1. 職員の質向上への取り組み：職員一人ひとりが福祉職として求められるスキル、能力が向上できるよう研修計画を確立します。
2. 働きやすい職場への取り組み：物的環境整備だけではなく、ハラスメント予防対策も推進し、心も身体も働きやすい職場環境を整えます。
3. 経営、運営への取り組み：居宅介護支援事業所（伊豆高原、ケアプランセンター—碧）を統合する他、各事業所、部署において合理化を推進します。
4. 地域福祉への取り組み：対島地域ふるさと協議会及び地域住民や関係団体と共に、地域共生社会に向け具体的に協働します。

II. 各種の事業計画

A. 運営目標・事業計画

1. 介護老人福祉施設

生活支援室：安全で快適な生活の場を提供するため、リスクマネジメントを機能させます。

看護室：入居者一人ひとりの最晩年の時に、全力で寄り添えるよう、他部署と共に看取り介護について学びを深めます。

生活相談室：入居者及び家族の意向を尊重し、各部署と連携しながら、きめ細やかなサービス提供を実施します。また、空床期間を減らすことで稼働率の向上を図ります。

給食室：安全で家庭的な美味しい食事の提供で、利用者の生きる力・笑顔溢れる生活を支えるため、調理、栄養の研修、実習で個々の職員のスキルをアップします。

事務室：財務及び労務のスキルアップを図り、伊豆地区の事務統合に取り組みます。

2. 地域包括支援センター

地域包括ケアシステムの構築に向け、住民や関係機関、多職種との連携を強化しつつ、安心して暮らせる共生社会を目指し、支え合いの仕組みを作ります。

3. 居宅介護支援事業所

伊豆高原：信頼を得ることで利用者や関係機関等から安心して任せていただける事業所とするため、専門スキルだけではなく、接遇等も含めた資質の向上を図ります。

ケアプランセンター—碧：地域との信頼関係を構築するため圏域内の地域包括支援センター（小室）と連携を強化します。

4. 短期入所生活介護

安心安全に利用できるよう取り組むと共に、緊急受入や特養の空床利用をスムーズに行うことで利用率を向上します。

5. 通所介護事業

利用者に選ばれる事業所になるため、研修会への参加及び勉強会の内容を充実させ、職員個々にスキルアップします。

6. 介護予防事業

包括支援センターや生活支援コーディネーターと連携し、介護予防教室やサロンの内容を充実させて参加者数を増加させます。

7. 訪問介護事業

利用者を増加させるため、研修や勉強会を通じて個々のスキルを上げつつ、関係機関、他職種との連携を今以上に密にします。

8. 配食サービス事業

栄養ある弁当配達で食の確保・フレイル予防をしつつ、安否確認により安心して在宅生活が継続できるよう支えます。

9. 生活支援事業

地域住民や様々な関係機関と連携し、支え合いや助け合いの推進を図り、高齢者が安心して暮ら

していけるよう、地域全体で支える仕組みを作ります。

10. 移送サービス事業（資格保有者がいないため、2019年度より事業を休止中）

B. 数値目標

事業名	介護老福施設	短期入所	通所介護	訪問介護	居宅（伊豆）	居宅（一碧）
利用定員数	90 人	10 人	27 人	人	人	人
利用者延数	32,850 人	3,650 人	7,440 人	16,060 時間	1,314 件	1,776 件
1日平均利用者数	89 人	10 人	24 人	44 時間	月平均 109 件	月平均 148 件
稼働率、稼働指数	99 %	100 %	88.8 %	— %	— %	— %
稼働日数	365 日	365 日	310 日	365 日	254 日	254 日
単価 （一日一人当たり）	13,987 円	13,460 円	8,657 円	3,475 円	月1件当 12,990 円	月1件当 14,329 円
介護保険・障害福祉サービス事業収入	459,480 千円	49,130 千円	64,410 千円	55,805 千円	17,070 千円	25,450 千円
職員数 （常勤換算）	67.8 人	6.3 人	9.9 人	9.8 人	3 人	4 人
事業名	地域包括	介護タクシー	介護予防	配食	生活支援	
利用定員数	— 人	— 人	— 人	— 人	— 人	
利用者延数	— 件	— 件	— 件	— 件	— 件	
1日平均利用者数	— 人	— 人	— 人	18 食	— 人	
稼働率、稼働指数	— %	— %	— %	— %	— %	
稼働日数	254 日	日	254 日	254 日	254 日	
単価 （一日一人当たり）	— 円	— 円	— 円	— 円	— 円	
介護保険・障害福祉サービス事業収入	38,410 千円	休止 千円	7,000 千円	3,200 千円	5,990 千円	
職員数 （常勤換算）	6.8 人	— 人	1.8 人	0.5 人	1.3 人	
合計	事業活動収入計		726,246千円	職員数（常勤換算）		111.2人

III. 事業種別・規模

介護老人福祉施設（定員；90名）、短期入所生活介護事業（定員；10名）、通所介護事業（定員；27名）、訪問介護事業、居宅介護支援事業、配食サービス事業、地域包括支援センター事業、障害福祉サービス事業（居宅介護、重度訪問介護、移動支援）、介護タクシー事業（休止中）、介護予防事業（一般、総合事業短期集中サービスC、サロン、地域介護予防支援事業サービスC）、生活支援事業（生活支援コーディネーター）、地域活動支援事業（居場所づくり）

IV. 職員について

A. 配置計画

職種区分	施設長	職事員務		相生談員活		専支門員援護		職看員護		職介員護		指訓機導員練能		医 師		栄管養理士・		職調員理		介助員		その他		合 計			
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務		
介護福祉施設	常勤	1		5		1		2	4	43	2					1		3						58	4		
	非常勤			2				2		3				2				5		4		6		24	0		
ショートステイ	常勤		1		1					3	16	8					1			4				16	19		
	非常勤								1		3				2				5		4		4	0	19		
デイサービス	常勤			1	1	3			1	1	4	2												6	7		
	非常勤								1	2	2	1												4	2		
ホームヘルパー	常勤			1						4														4	1		
	非常勤									21														21	0		
居宅介護支援	常勤			1			3																	3	1		
伊豆高原十字の園	非常勤																							0	0		
居宅介護支援	常勤			1			5																	5	1		
ケアプランセンター碧	非常勤																							0	0		
地域包括支援センター	常勤				2	2	2		2															6	0		
	非常勤					1																		1	0		
生活支援事業 (居場所づくり含む)	常勤			1																				1	0		
	非常勤			3																				3	0		
介護予防事業	常勤			1					2	1				1										0	2		
	非常勤								2	1														2	2		
合 計		1	1	11	7	4	4	11	2	12	8	93	15	1	1	2	2	1	1	8	9	4	4	6	4	154	58

B. 職員組織について

施設管理会議	宮島克利 鈴木貴雅 西島一恵 岩本佑太 重永仁美
施設運営会議	鈴木貴雅 岩本佑太 西島一恵 山田厚子 磯崎 亮 平野淳一 爲田町子
在宅運営会議	重永仁美 鈴木貴雅 土屋康美 植木三和子 稲葉奈美江 三好かまり 中村公美子 平野淳一 富岡良太
防火管理者	岩本佑太
衛生管理者	鈴木貴雅
優先入所検討委員会	宮島克利 岩本佑太 磯崎 亮 上嶋恵美 山田厚子 上田 彰(第三者) 爲田町子
苦情解決第三者委員 連絡会	宮島克利(施設長) 磯崎亮(施設生活相談員; 苦情受付担当者) 第三者委員: 上田 彰(伊東教会牧師) 相磯英之(市社協職員)

V. 年間事業(行事)計画

区 分	内 容
全体で行う行事	春のふれあいまつり、クリスマス礼拝、秋まつり、召天者を偲ぶ会、礼拝、敬老式典
施設ユニットの行事	お花見、端午の節句、七夕、敬老祝会、芋煮会、クリスマス、もちつき、新年会、節分、雛祭り、誕生会、外出・レクドライブ、お月見、コンサート
通所介護の行事	お花見、七夕、敬老祝会、夏祭り、運動会、芋煮会、クリスマス、新年会、忘年会、節分、雛祭り、散策、誕生会、サークル(絵画・園芸・手芸・おやつ・生け花)
保健・医療・衛生管理	入居者健康診断、職員健康診断、防虫消毒、ストレスチェック、安全衛生委員会(毎月)
職員内部研修	全体勉強会、部署勉強会、新入職員研修、中堅職員研修
職員会議	全体会議(年1回以上)、施設管理会議(月1回以上)、施設運営会議(月1回)、在宅運営会議(月1回)、部署会議(月1回以上)、サービス担当者会議(随時)、事業所会議(月1回)、苦情解決第三者委員連絡会(年4回)、優先入所検討委員会(年2回以上)
保安防災対策	防災訓練[火災・地震・夜間想定](毎月)、防災委員会(年2回)
自由参加行事	喫茶麦の会、生け花、書道サークル、出張売店、衣類販売、読み聞かせ、おやつサークル
地域化推進活動	ボランティア懇談会、家族懇談会、対島地域ふるさと協議会、子ども食堂「風の子」

VI. 固定資産購入、修繕等

- 1) 特養; 低床ベッド、薬収納ケース(看護室保管用)
- 2) 給食; 栄養ソフト、パソコン(栄養ソフト用)
- 3) その他; 旧施設PCB処分

軽費老人ホーム（ケアハウス）アドナイ館 2020年度事業計画

I. 基本理念

夕暮れになっても光がある

人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。

運営方針

A. 精神的基盤

十字の園は、キリスト教信仰者であるドイツ人ハニ・ウォルフ氏が高齢者の寝たきり、自殺といった開設当時の日本の課題を自分の事として捉え、これを解決することが、自分に神様が与えた使命と受け取り事業が始められた。

私たちは、聖書を通じて示されたイエス・キリストの十字架の愛を、模範とした先達の思いを精神的基盤とし、職場における礼拝や聖書の言葉を聞くことを大切にする。

B. 今年度方針

- ・地区としての一体化を進め、理念・行動規範に沿った信頼し合えるチーム作りをする。
- ・老朽化した建物の建て替えに向けた準備を一体的に進める。

II. 事業計画

A. 運営目標・事業計画

1. 軽費老人ホーム（ケアハウス・調理）

一人一人が安心して自分らしい生活を送れるように、職員間のチーム力の向上、環境整備に取り組む

- ・情報共有と役割の明確化
- ・利用者が安心して生活するためにより利用者の声を聞く取り組み
- ・計画的な施設整備

2. 通所介護（デイサービス）

個別活動を充実し、利用者がやりがい、達成感を感じて楽しく通い続けられるデイサービスにする。さまざまな機会を通して、家族、地域と関わる機会を作り、デイの良さを地域に積極的に発信する。

B. 数値目標

	ケアハウス	通所	事業活動収入計
利用定員	50人	30人	
利用者延数	18,250人	7,626人	
1日平均利用者数	50人	24.6人	
稼働率、稼働指数	100%	82.0%	
稼働日数	365日	310日	
単価（一人一日当）	5,241円	9,488円	
収入（介護保険・老人福祉事業収入）	95,655千円	69,877千円	165,532千円
職員数（常勤換算）	10.6人	12.03人	22.63人

III. 事業種別・規模

軽費老人ホーム（ケアハウス）50名、通所介護30名

IV. 職員について

A. 配置計画

職種区分	施設長		事務員		相談員		支専門員		看護員		介護員		訓練員		医師		栄養士		調理員		介助員		その他		合計	
	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
ケアハウス	常勤	1	1	1					1						1		3								7	1
	非常勤								3								3						4		10	0
デイサービス	常勤				3				3	3	1														4	6
	非常勤				1				3	2	1		3								2		2	1	6	9
合計	0	1	1	0	1	4	0	0	3	9	4	1	3	0	0	1	0	6	0	2	0	6	1	27	16	

B. 職員組織について

施設管理者	河出雅代（第2アドナイ館兼務デイサービスは別）
浜松経営管理会議	鈴木淳司、古橋美恵子、河出雅代、鶴見俊輔、鈴木宏明、小杉佳弘
管理運営会議	河出雅代、鹿野勝幸、野末芳美、奥村敦司、安田匡豊、川端美香
防火管理者	鹿野勝幸
衛生推進者	豊田くみ子
食品衛生責任者	奥村敦司
苦情解決委員会	河出雅代、野末芳美、奥村敦司、安田匡豊 第三者委員 野崎玲子、渡邊禎子

V. 年間事業（行事）計画

区分	内容
全体で行う行事	朝の礼拝、納涼祭、希望の日、クリストファーこども園と交流会、入居者勉強会、クリスマス会、バス旅行（春）、食事会（秋）、4月全員写真撮影
通所介護の行事	新年会、節句、納涼祭、敬老の日、クリスマス会、個別レク、誕生会、書道、茶道、運動会、音楽・園芸・アクティビティ、（リハビリ・口腔ケア等）
保健・医療・衛生管理	健康診断、インフルエンザ予防接種、メガネ相談、医師診察日、防虫消毒、福祉相談
職員会議	全体会議（年1回）、アドナイ会議（月1回）、給食・デイ・ハウス会議（月1回）
	苦情解決委員会(毎月)、勉強会(月1回)、
防災訓練	毎月「火災想定・地震想定・夜間訓練」、防災委員会(年2回)、防災機器点検(年2回)
機関紙編集会議	隔月（河出、鹿野、野末、奥村、安田、豊田） 入居者編集委員（斎藤一彦）
入居者参加教室	カラオケクラブ、フラワー教室、読書会、聖書研究会、筋力トレーニング、レコード鑑賞

VI. 固定資産購入、修繕等

- ・ボイラー更新工事・プラスチックラー（超急速冷却機）購入・炊飯器

松崎十字の園・オリブ 2020 年度事業計画

I. 基本理念

A. 精神的基盤

1. 月曜から金曜までの毎朝の礼拝で利用者の生活、職員の働き、施設・法人の在るべき姿を神様に祈り、聖句、奨励から問い掛けを受けて一日を始めます。
2. 職員一同、法人理念を諳んじる事が出来るようにします。
3. 十字の園行動規範ハンドブックを申し送り時に読み合わせをします。

【行動規範】

- ・私たちは、一人ひとりの命と個性と権利を大切にします。
- ・私たちは、支援を必要な方に積極的に歩み寄り、必要な支援を届けます。
- ・私たちは、常に自己研鑽に励み、互いに力を発揮し合い協力して支援します。
- ・私たちは、安心、安全な職場環境を整えます。
- ・私たちは、誠実で公正かつ適正な経営を行います。

B. 運営方針

1. 人材育成に取り組む。(私たちは、常に自己研鑽に励み、互いに力を発揮し合い協力して支援します。)
各主任が中心になり、人材育成の為の企画を行い、実行します。

- ① 各職場で研修計画を立て実行します。
- ② 主任会議で進捗を確認し合い、各職場も協力し合って職員の育成に当たります。
- ③ 研修の年度目標は、「職員のコミュニケーション能力（特に接遇）を高める。」とします。

2. 働く環境を整備します。(私たちは、安心、安全な職場環境を整えます。)

- ① 設備の不良箇所の修繕を行います。
- ② 施設の設備整備の中長期計画を見直します。
- ③ 業務の改善を進めると共に、外国人労働者を含めた人材の確保に取り組みます。

II. 事業計画

A. 運営目標・事業計画

1. 介護老人福祉施設 松崎十字の園

(1) 介護

- ① 利用者の笑顔がある生活の場、職員の笑顔がある職場にします。
- ② 礼儀正しい言葉使いをすると共に、丁寧な介護を行います。
- ③ 職員が講師になる研修会を企画します。
- ④ 利用者・家族にアンケートを取り介護の質を高めます。

(2) 看護

- ① 感染症対策では、職員の勉強会、日々の清潔保持、健康管理を常に意識して感染0にします。
- ② 看取り介護では、家族・職員にグリーンケアについての知識や技術・方法の学び、多職種連携を取りながら行います。

(3) 相談員

- ① 可能な限り利用者自身が意思決定できる支援を行えるように相談員の質を上げ、環境を整えます。
- ② 入所待機者・家族に対して事前に連絡調整を図り、施設での生活に納得されるように説明を行い、入所後の生活について意見やアンケートを取り支援の改善を多職種と図ります。

(4) 施設介護支援専門員

- ① 利用者本人が望む活動を本人や家族に具体的に聞き取り PDCA に基づいたプランを作成します。
- ② プランを作成する際、他部署の連携を深め、利用者が充実した生活が送れるように支援します。

2. 短期入所生活介護事業

- ① さまざまな認知症の症状について研修を行い、正しく理解しその人に合った対応を行います。
- ② 事故防止についてヒヤリハット等の事例を参考に事故件数の減少に努めます。

3. 通所介護事業

- ① 個別の生活リハビリの支援計画を立て、支援の充実と体制強化を図り事業所の強みにします。
- ② 職員のサービスの質の向上を図るため他事業所と連携した研修を行い、地域全体の事業所の質を高めます。
- ③ 継続力を持った人材の育成にあたります。

4. 訪問介護事業

- ① 利用者の思いだけでなく、家庭の介護者の思いも受け留めて対応が継続出来る事業所にします。
- ② ヘルパー増員の為の働き掛けが出来るようにします。

5. 居宅介護支援事業

- ① 各事業所や関係機関との連携を取り、ADL 向上のプランでなく、生活の先にある社会参加を見据えたプランを作成し、利用者の在宅生活が充実出来るように支援します。
- ② 施設内の在宅部門と連携を取り、在宅事業のサービスの向上に寄与するよう努めます。

6. 障害者支援施設 オリブ

(1) 施設支援

- ① 良質なコミュニケーションとは何かを考え、職員の質を上げる研修を行います。
- ② 利用者一人ひとりの思いを支援内容の検討を関係職種と行い、個別支援計画書の作成・実施し、決まりきった業務に陥りがちな支援から利用者に合わせて臨機応変な関わりを実行します。

(2) 生活介護

- ① 新規利用者の把握と利用へ向けたスムーズな対応を相談支援と連携して行います。
- ② サービス利用時の個々の利用環境の整備を行うと共に、利用者の入れ替わり、職員の異動に伴う不安を軽減出来る支援計画の作成と実施を行います。そして、利用者から満足度の評価を受けます。

(3) 看護

- ① 障がいの理解、疾病の理解について多職種と共に学び利用者の一人ひとりの日常生活が充実できるようにします。
- ② オリブの利用者は、就労支援の事業所に行くケースもあり、それぞれの健康管理を図り、関連事業所や施設の他部署と連携して感染0にします。

(4) 機能訓練

- ① 障害に応じた機能訓練を支援員・看護師と共に立案し、多職種と連携し個別の訓練支援を実施します。

7. 身障短期入所事業

- ① 相談支援と連携を図り、在宅生活継続の為の支援を行います。
- ② 本人や家族の意向を聴き、体調維持管理等の支援を行い、利用の満足度を上げます。

8. 障害者相談支援

- ① 2021 年地域生活支援拠点事業の本格的運営開始に向け、賀茂地区自立支援協議会との連携をもち、事業を進めます。特に対象者リスト台帳の作成と整備を行います。
- ② 特定事業所加算や精神障害者支援体制加算・強度行動障害支援体制加算の要件をみたくように必要な研修を受講し、算定ができるようにします。
- ③ 平均月 1 名の新規利用者の受け入れを行っていきます。

9. 障害者ヘルパー事業

- ① 特殊なケース(化学物質過敏症等) に対する対応が継続して出来る事業所にします。
- ② ヘルパー増員の為の働き掛けが出来るようにします。

10. 就労継続支援 B 型事業所 (ワークショップマナ)

- ① 利用者の増加に対応した体制作りを行います。
- ② 職員交代に伴い、新職員に対して、教育研修を行うと共に今までに支援のあり方を見直します。
- ③ 事務と共に就労会計の適正な処理と材料と製品、設備機材、道具の 6 S (特に整理整頓) を行います。

11. 給食(障害施設と共通)

- ① 給食からの発信で利用者へ食を通しての楽しみの提供を年 4 回行います。(おやつバイキング、餅つき等の行事の実施)。
- ② HACCP 導入に向けて、給食職員に理解と周知に努めます。
- ③ 給食室のチーム力のアップを行います。

12. 事務

- ① 伊豆地区の会計の統合化と松崎・オリブ拠点の役割の明確化を会計責任者と予算管理責任者の指示のもとに行います。

- ② 就労支援事務管理【就労会計の明朗化（原価計算・材料の管理・生産物仕掛品の管理・工賃計算の適正化・販売処理の明確化・販売促進等）、請求業務、労務管理、申請業務、文書管理、5Sの取組等】の徹底を図り、これらをマナの主任業務に結び付ける基礎を作ります。

B. 数値目標

松崎十字の園拠点

	特養	短期	通所
利用定員	50人	9人	25人
利用延数（人、時間、件数）	18,067人	3,614人	5,080人
一日平均利用者数	49.5人	9.9人	18.8人
稼働率・稼働指数	99.0%	110.0%	80.0%
稼働日数	365日	365日	269日
単価（一人一日当たり）	11,760円	10,756円	9,369円
介護保険事業収入	※212,465千円	38,872千円	47,595千円
職員数(常勤換算)	48.3人		6.5人
	訪問	居宅	事業活動収入計
利用定員	-	-	-
利用延数（人、時間、件数）	1500時間	450件	-
一日平均利用者数	4.1時間	-	-
稼働率・稼働指数	-	-	-
稼働日数	365日	-	-
単価（一人一日当たり）	4,667円/時	11,644円/件	-
介護保険事業収入	7,001千円	5,240千円	317,261千円
職員数(常勤換算)	2.7人	2.0人（出向1名含）	59.5人

※職員出向 720万円を含む。

オリブ拠点

	施設支援	生活介護	短期
利用定員	22人	27人	2人
利用延数(人、時間、件数)	7,949人	6,537人	803人
一日平均利用者数	21.7人	24.3人	2.2人
稼働率・稼働指数	99.0%	90.0%	110.0%
稼働日数	365日	269日	365日
単価(一人一日当たり)	6,196円	10,731円	10,174円
障害福祉サービス等事業収入	49,250千円	70,150千円	8,170千円
職員数(常勤換算)	14.2人		
	訪問	相談	就労支援
利用定員	-	-	20人
利用延数(人、時間、件数)	1,000時間	-	6,504人
一日平均利用者数	-	-	24.2人
稼働率・稼働指数	-	-	120.0%
稼働日数	365日	365日	269日
単価(一人一日当たり)	3,010円/時	-	9,076円
障害福祉サービス等事業収入	3,010千円	※13,816千円	59,030千円
職員数(常勤換算)	2.5人(兼務)	2.8人	8.1人

※相談委託費 813万(高次脳 60万円含む)

	オリブ拠点	松崎十字の園拠点	2拠点合計
事業活動収入計	217,160千円	317,261千円	534,421千円
職員数(常勤換算)計	27.6人	59.5人	87.1人

Ⅲ. 事業規模

松崎拠点

介護老人福祉施設(50名)、短期入所生活介護(9名)、通所介護事業(25名)、訪問介護事業、居宅介護支援事業所

オリブ拠点

障害者支援施設(22名)、生活介護(27名)、身障短期入所生活介護事業(2名)、障害者相談支援事業所、障害者ヘルパー事業、就労継続支援B型事業所(20名)

IV. 職員について

A. 配置計画

松崎拠点

職種区分		施設長	事務員	相談員	生活専門	介護支援	看護師	介護士	訓練士	機能	医師	栄養士	調理師	介助員	その他	合計											
事業名		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務										
介護福祉施設	常勤	1	1	2		1	3	22	1			1	2			33	1										
	非常勤		1				1	7			1		8	3	2	19	1										
ショートステイ	常勤	1		1				6								1	7										
	非常勤							1								0	1										
デイサービス	常勤	1		1				2								3	1										
	非常勤						2	4								6	0										
ホームヘルパー	常勤							2								2	0										
	非常勤							2								2	0										
居宅介護支援	常勤					1									1	2	0										
	非常勤															0	0										
合計		1	2	2	0	4	0	1	1	6	0	39	7	1	0	0	1	1	0	10	0	3	0	3	0	68	11

オリブ拠点

職種区分		施設長	事務員	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	看護師	相談員	生活支援員	訓練士	機能	医師	栄養士	調理師	介助員	その他	合計												
事業名		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務										
障害者支援施設	常勤	1	1	1	1		6	1			1	2				11	3										
	非常勤						4			1		8	1	2		4	12										
身障ショートステイ	常勤	1			1			6								0	8										
	非常勤							4								0	4										
障害者相談支援事業所	常勤	1				2	1									2	2										
	非常勤					1										1	0										
障害者ヘルパー事業所	常勤							2								0	2										
	非常勤							2								0	2										
就労継続支援B型	常勤	1			1		2	4	1							7	2										
	非常勤							1								1	0										
合計		0	4	1	0	2	1	1	0	5	1	15	15	1	0	0	1	1	0	0	10	0	1	0	2	26	35

B. 職員組織について

施設管理	施設長 小川秀幸
運営会議	小川秀幸、佐藤秀子、秋元 徹
主任会議	小川秀幸、佐藤秀子、秋元 徹、山本貴一、鈴木清彦、島倉とよみ 佐々木正章、石田良、中川修大、菊池仁美、マナ（リーダー陪席）、稲葉雅一
防火管理者	山本貴一
衛生管理者	鈴木敏江
特養入所判定会	小川秀幸、島倉とよみ、三宅美恵子、鈴木清彦、中川修大 第三者委員：江口 充
苦情解決委員会	小川秀幸、佐藤秀子、秋元 徹 第三者委員：江口 充、金刺幸春
身障入所判定会	小川秀幸、秋元 徹、山本貴一、大川浩美、島倉とよみ、

V. 年間事業（行事）計画

区分	内容
全体で行う行事	アドベントクリスマス祝会、朝の礼拝（月～金）
各事業単位の行事	誕生会、レクドライブ、お食事会、買い物外出、忘年会、新年会、障害者スポーツ大会、敬老会、他
保健・医療・衛生管理	利用者健康診断（年1回）、月毎の掃除、防虫消毒（業者に委託） 職員の健康診断（年2回）、健康管理（11～3月まで体温チェック）
職員内部研修	新人研修、職員勉強会、施設見学、他施設実習、web 動画を活用した研修 ハラスメント・メンタルヘルスについての講座、
職員会議	各部署会議（毎月）、各種委員会会議（毎月）、高齢者ユニット会議（毎月）、高齢者ユニットリーダー会議（毎月）、リスクマネジメント・身体拘束適正化委員会・虐待防止委員会（毎月）、入所判定委員会（適宜）
保安防災対策	防災訓練（総合訓練、検証訓練）[年12回内夜間想定4回] 地震火災総合訓練（年1回）、防災会議（毎月）

VI. その他（修繕・固定資産備品購入予定）

- ・改修工事（資金の調達として、法人本部より1000万円の長期借入を行う）

施設全体・壁紙の改修・天井のシミ、穴の補修・加圧給水ユニットポンプ交換・駐車場の整地（水たまり解消）・ドアの取手ドアのレールの改修・便座の不良・水道水栓のコマ交換・手すりのぐらつき・オリブ側靴箱の固定・居室棚の取手の改修・3階屋上の防水処置・網戸・3階洗濯機室の床改修・3階洗濯室壁亀裂・3階屋上外壁亀裂改修・礼拝室他シロアリ被害後の改修・3階月見テラスの設置・自動ドアセンサー改修・非常照明誘導灯バッテリー交換・発電機バッテリー交換・発電機w p改修・エレベータ部品交換・電源PAS トランス高圧ケーブル交換・雨水樋の設置・記録システムのカスタマイズ・3階給湯機改修・アンテナの改修・コンセント改修・シンク内の給湯器交換・放送設備

高齢入所・床の改修・浴室水栓機器配管交換・檜風呂改修・トイレ入り口の開口工事・排煙窓スイッチの改修、

高齢短期・手すり設置

デイ・浴室水栓機器配管交換・檜風呂改修

オリブ・浴室水栓機器配管交換・浴室の照明・ベッドキャスター交換・網戸改修・便座の交換・2人居室へドアの取り付け

マナ・オープンの移動設置・エアコン

障害相談 ・うさぎビル住居部改修（地域生活支援拠点事業として市町の補助金）

給食・トイレ洋式化・蛇口のハンドル化・下処理室の混合栓化・給湯の配管設置・床はがれの改修

- ・購入備品 **施設全体**・ノートパソコン・iPad・ドキュワークス・ウィルスソフト・コール用のピッチ
- 高齢特養**・介助バー・トイレガード・超低床ベッド・職員ロッカー **高齢短期**・超低床ベッド・車椅子・ポータブルトイレ・食器洗浄機・離床センサー **デイ**・介助バー **ヘルパー** ・活動日誌の印刷 **オリブ**・収納棚・書類保管庫 **マナ**・ミシン・2段オープン・真空土練機・コピー機・大型印刷機用パソコン **障がい相談**・キャビネット・モバイルシステム・携帯電話 **看護**・聴診器・薬の保管庫・**給食**・真空包装機・プレハブ冷蔵庫（共同募金に申請予定）・食器・調理道具・栄養計算ソフト

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜 2020年度事業計画

I. 基本理念

A. 精神的基盤

1. 「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります」を基盤として、利用者の皆さんが、かけがえのない人生を、最期までその人らしく生き続けることができるよう支援します。
2. 主の祈りをもとに、利用者一人ひとりの穏やかな日々の暮らしと、利用者相互の支えあい、助け合いで、なごやかでのびやかな共同体作りに取り組みます。

B. 運営方針

1. 理念の実現の為、十字の園行動規範の具現化に取り組む。
2. 伊豆高原十字の園敷地への移転新築を含めて、市と協議し具体化出来るよう進めて行く。
3. 伊豆高原十字の園と連携し、経理部門・在宅事業のあり方を検討し、効率化を図る。
4. 伊豆高原十字の園と合同の食事提供を検討し、効率化を図る。
5. 一年を通し、一人ひとりが健康で四季を感じられる施設作りに取り組む。
6. 職員のスキルアップを図り、魅力的な職場づくりに取り組む。

II. 事業計画

A. 運営目標・事業計画

1. 養護老人ホーム
 - 1) 入居者一人々の当たり前前の生活とは何かと、一緒に考え支援する。
 - 2) 多職種との連携、専門職としての向上を図ります。
 - 3) 入居者の高齢化に伴う、必要な助言・情報提供を入居者や家族に対して行い、安心して施設生活ができるようにする。
 - 4) 入居者の高齢化に伴い、嚥下困難等摂食に対して不安のある方への食事及び形態を配慮する。季節や行事にリンクしたメニュー作りを心掛け食事を楽しんで頂く。
 - 5) 伊東・松崎地区の経理担当者の事務分担の明確にする。
2. ショートステイ事業
地域のセーフティーネットとして緊急時・通常時も含め常時体制を整え、利用に備える。施設内の各部署との情報を共有できるよう関係機関との連携を深め利用者が安心・安全に生活できるよう支援する。
3. 生きがいデイサービス事業
伊東市の介護予防事業ということを念頭に置き、老人性のうつ・ひきこもり・やる気の低下を防ぐよう刺激を与え、新しい情報を取り入れ、様々なことに興味を持っていきいきと生活できるようなサービスをする。
4. 通所介護事業
 - 1) 平和の杜
事業所の特性を活かし地域に根差した支援の場において、多職種で連携し利用者の個別のニーズに合わせたサービスを提供する。
 - 2) 一碧の杜くつろぎの家
地域の皆様が気軽に集える場所作りを目標とする。皆が寄り添って生活できるグループワーク的デイサービスに取り組み、平均9名以上の利用を目標として在宅利用者の増加を図る。
5. 訪問介護事業
職員間や他職種との情報共有と連携をさらに強化し、安心と満足感を得られるように努める。
6. 居宅介護支援事業
本人家族が住み慣れた町や家で一日でも長く趣味や余暇を楽しむ余裕を持った生活ができるように医療福祉の各関係機関と連携し支援して行く。笑顔の多くなる寄り添った支援やサービスを行う。

B. 数値目標

	養護 (指定管理)	老人短期	生きがいデイ (指定管理)	居宅支援
利用定員	50名	6名	15名	39名
利用数延数	18,250名	420名	3,645名	420名
1日平均利用者数	50.0名	1.1名	15.0名	35.0名
稼働率、稼働指数	100.00%	19.17%	100.00%	89.74%
稼働日数	365日	365日	243日	12月
単価(一人一日当たり)	6,191円	3,809円	5,987円	10,978円
収入(老人福祉事業・ 介護保険事業収入)	113,000千円	1,600千円	21,825千円	4,611千円
職員数(常勤換算)	15.72名	0.21名	3.36名	1.00名

	特定施設	地域密着型 通所介護Ⅰ	訪問介護	(再掲) 特定訪問
利用定員	24名	15名	27名	-
利用数延数	8,395名	3,654名	10,856時間	(10,220時間)
1日平均利用者数	23.0名	14.0名	29.7時間	(28.0時間)
稼働率、稼働指数	95.86%	93.33%	-	-
稼働日数	365日	261日	365日	(365日)
単価(一人一日当たり)	6,029円	7,447円	2,900円	-
収入(老人福祉事業・ 介護保険事業収入)	50,617千円	27,212千円	31,483千円	
職員数(常勤換算)	1.37名	3.32名	5.38名	0.00名

	地域密着型 通所介護Ⅱ	(再掲) 特定通所		事業活動収入計
利用定員	10名	-		
利用数延数	2,349名	(1,566名)		
1日平均利用者数	9.0名	(6.0名)		
稼働率、稼働指数	90.00%	-		
稼働日数	261日	(261日)		
単価(一人一日当たり)	8,870円	-		
収入(老人福祉事業・ 介護保険事業収入)	20,836千円			228,735千円
職員数(常勤換算)	3.96名	0.00名		35.58名

Ⅲ. 事業規模

養護老人ホーム(50名)、ショートステイ事業(6名)、生きがいデイサービス事業(15名)
 特定施設入居者生活介護(24名)、通所介護事業(15+10名)、訪問介護事業、居宅介護支援事業

IV. 職員について

A. 配置計画

職種区分	事業名	施設長		職事員		相生談員		援介専護門支		職看員		支生援員		練機指能導訓		医 師		栄養士		職調員		介訪護員		その他		合計	
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
養護老人ホーム ショートステイ	常勤	1		1		2	1	1		2		8						1		4						20	1
	非常勤			1		1			1	1						1				3						7	1
生きがい デイサービス	常勤		1			1	1			1	1	4														2	7
	非常勤									1	2															2	1
通所介護事業Ⅰ 平和の杜	常勤		1			1	1			1	1	4		1												2	8
	非常勤									1	5			1												5	2
通所介護事業Ⅱ くつろぎの家	常勤		1			1	2			1	1	4		1												2	9
	非常勤									1	2			1												2	2
訪問介護事業	常勤		1																			1	7			1	8
	非常勤																									0	0
居宅介護支援	常勤		1					1																		1	1
	非常勤																									0	0
合計		1	5	2	0	6	5	2	1	3	6	20	12	0	4	1	0	1	0	7	0	1	7	0	0	44	40

B. 職員組織について

施設管理者	施設長 鈴木啓之
施設管理会議	鈴木啓之、稲葉雅一、重永仁美、西島一恵
施設運営会議	鈴木啓之、鈴木みどり、水口朱美、後藤久美、里見敏和、佐久間光一、田中浩美、重永仁美、西島一恵、稲葉雅一
防火管理者	白橋崇信
衛生推進者	里見敏和
感染対策委員会	鈴木啓之、鈴木みどり、水口朱美、後藤久美、里見敏和、佐久間光一、田中浩美
苦情解決 第三者委員会	鈴木啓之、近藤礼子、里見敏和、貫洞祥子、辻由起子、田中浩美 第三者委員；村上互（地区民生児童委員）、古屋廣昭（伊東市社協）

V. 年間事業（行事）計画

区 分	内 容
全体で行なう行事	あじさいの会、(納涼祭)、敬老会(感謝の集い)、クリスマス会、(新年会)
グループ行事	お花見、レクドライブ、食事会、ショッピング
デイサービスの行事	お花見、敬老会、七夕、小遠足、運動会、クリスマス、新年会、節分、ひな祭り、レクドライブ、誕生会
保健・医療・衛生管理	入居者健康診断(年2回)、職員健康診断、防虫消毒
職員研修	全体勉強会、法人内研修、外部研修、施設見学、
職員会議	職員全体会議(年1回以上)、施設運営会議(月1回)、ケース検討会(随時)、感染対策委員会・リスクマネジメント委員会(月1回)、身体拘束廃止委員会
利用者家族関係	入居者懇談会(月1回)、家族懇談会(年1回)
保安防災対策	防災訓練[火災・地震・夜間想定(年2回以上)]、防災委員会(年2回以上)
アクティビティ クラブ活動	カラオケ、民謡踊り、シャンテ、生け花、習字、おやつ作り、俳句の会、大池小交流会、麻雀、

VI. その他（修繕・固定資産購入等）

1. 車いす対応車両(養護)・居宅のリースでの購入を計画する。
2. 防災用自家発電機を整備する。
3. 建物補修は、市と協議しつつ進める。

**地域密着型特定施設入居者生活介護事業施設
軽費老人ホーム（ケアハウス）第2アドナイ館グループ 2020年度事業計画書**

I. 基本理念

夕暮れになっても光がある

人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。

運営方針

A. 精神的基盤

十字の園は、キリスト教信仰者であるドイツ人ハニ・ウォルフ氏が高齢者の寝たきり、自殺といった開設当時の日本の課題を自分の事として捉え、これを解決することが、自分に神様が与えた使命と受け取り事業が始められた。

私たちは、聖書を通じて示されたイエス・キリストの十字架の愛を、模範とした先達の思いを精神的基盤とし、職場における礼拝や聖書の言葉を聞くことを大切にする。

B. 今年度方針

- ・地区としての一体化を進め、理念・行動規範に沿った信頼し合えるチーム作りをする。
- ・老朽化した建物の建て替えに向けた準備を一体的に進める。

II 事業計画

A. 運営目標・事業計画

1. ケアハウス

- ① 職員同士、利用者、家族、地域のそれぞれの関係性を改善し信頼し合う関係性を作る。
- ② ケアハウスの連携の中で一体的な運営を行う。

2. トレーニング型デイサービス ふらすワン

地区の一体的取り組みの中で、体操教室からセルフわんそしてふらすワンの流れを地域でつくる。

3. 十字の園 居宅支援事業所

地域に根差し介護の相談窓口として、信頼され選ばれる事業所になる。

4. ヘルパーステーションほそえ

利用者の声やお互いの気づきを共有し、サービスの質の向上を図る。

5. 認知症対応型通所介護 のんき

あんきとの統合を行い、目指すケアを明確にし、のんきの良さを地域に発信する。

6. げんきプロジェクト根洗荘

ヘルパー、居宅と連携して周知活動を行い、地域や他法人居宅に根洗荘の取り組みを発信し、より多くの利用につなげる。

7. 小規模多機能型ホーム あんき

のんきと統合し一つの事業所として円滑な運営を進め事業休止とする。

8. 公益的取組目標

地域サロン（カフェ）、中学生体験実習、小学生との戦争体験交流

B. 数値目標

	ケアハウス	地域密着型 特定施設	通所介護 ぶらすワン	認知症通所 介護 のんき	げんき プロジェクト 根洗荘
利用定員	20人	20人	20人	12人	—
利用者延数	7,300人	7,100人	3860人	2836人	4750人
一日平均利用者数	19.8人	19.45人	16.6人	9.3人	18.6人
平均介護度		1.85	1.3	2	—
稼働率、稼働指数	98%	97%	83%	78%	—
稼働日数	365日	365日	232.5日	303日	255日
単価(一人一日あたり)	7,544円	6,944円	5,876円	11,988円	2,085円
収入(介護保険事業・ 老人福祉事業)千円	55,070	49,300	22,683	33,999	9,905
職員数(常勤換算)		16.9人	4.4人	6.2人	2.95人
	居宅介護支援	訪問介護	事業活動 収入計		
利用定員	157	—			
利用者延数	1710人	5940時間			
一日平均利用者数	(月) 142.5人	(月) 495時間			
平均介護度	—	—			
稼働率、稼働指数	91%	—			
稼働日数	(月) 12月	254日			
単価(一人一日あたり)	13,480円	(1時間) 4,239円			
収入(介護保険事業・ 老人福祉事業)千円	23,050	25,713	220,785		
職員数(常勤換算)	4.5人	4.18人	39.13人		

III. 事業規模

ケアハウス・特定施設入居者生活介護事業 (定員20名)
 地域密着型指定通所介護 (定員10名/午前午後2単位)
 指定訪問介護
 指定居宅介護支援事業所
 地域密着型認知症対応型通所介護 (定員12名)
 げんきプロジェクト 根洗荘

IV. 職員について

A. 配置計画

職種区分	事業名	管理者 施設長		事務員		生活 相談員		介護支援 専門員		看護 師		介護 士		機能訓 練指導 員		栄養 士		調理 師		介助 員		その他		合 計		
		専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	専 従	兼 務	
ケアハウス	常 勤		1	1		1		1		1		9		1		1							15	1		
	非常勤			1						1		1									2	1	6	0		
通所介護	常 勤					1								2									3	0		
	非常勤							3				3											0	6		
認知症 通所介 護	常 勤					1	2					2											1	4		
	非常勤						1				3	1	2									1	1	6	3	
元気 プロシ ェクト 根洗荘	常 勤											1											0	1		
	非常勤											6										1	1	7	1	
居宅支 援 事業所	常 勤							4	1														4	1		
	非常勤																						0	0		
訪問介護	常 勤											2	1										2	1		
	非常勤											4											4	0		
合 計		0	1	2	0	3	6	5	1	2	0	25	8	5	0	1	0				2	0	3	2	48	18

B. 職員組織について

施設管理・事業管理	施設長 河出 雅代 (アドナイ館兼務在宅グループは別)
浜松地区経営管理会議	鈴木淳司、古橋美恵子、河出雅代、鶴見俊輔、鈴木宏明、小杉佳弘
運営会議	河出雅代、市川百合子、後藤未来、今田恵子、鈴木敬二
防火管理者	大谷光宏、鈴木敬二
衛生管理者 (衛生推進者)	市川百合子
運営推進会議	各地域自治会役員、民生委員、(聖隷、清水地区) 入居者・利用者家族、地域包括域支援センター、浜松市介護保険課職員、第2職員 のんき職員 ぷらすワン職員
苦情解決委員会 (年2回)	河出雅代、細田滋、山崎淳司、鈴木敬二、栗田洋平、倉田真樹 第三者委員(野崎 玲子、渡邊 禎子)

V. 年間事業(行事)計画

区分	内容
毎月定例の行事	讃美歌の会(2/月)、書道教室(2/月)、絵画教室(2/月)、 懐メロの会、お茶会(2/月)、買い物ツアー(2/月)、誕生日会、午後プロ(適時)
年間定例の行事	お花見、運動会、流しそうめん、夏祭り、敬老祝会、 秋の遠足ドライブ、クリスマス礼拝祝会、餅つき、新年礼拝祝会、新春箏調べ、豆まき、お雛祭り、
保健・医療・衛生管理	健康診断、インフルエンザ予防接種、メガネ相談、医師診察日、検便、歯科衛生士
委員会	防災委員会、環境整備委員会、食品衛生・環境委員会、身体拘束委員会、 苦情解決委員会、事故対策委員会、安全運転委員会、認知症委員会
職員会議・勉強会	施設運営会議(1/月)、全体会議(1/年) 勉強会(1/月)、チーム勉強会(1/月)、各事業所会議(1/月) 苦情解決委員会(2/年) 身体拘束廃止勉強会(2/年) 感染症予防勉強会(2/年) 事故対策(2/年) 安全運転(1/年)
防災訓練	毎月「火災想定・地震想定・夜間訓練」、防災委員会(4/年)、防災機器点検(2/年)

VI. その他(修繕・固定資産購入等)

エアコン・給排水設備修繕 車両更新